

建議・要望書回答要旨

農業委員会では農業の持続的な発展と農村の振興を図るため、積極的な施策展開を求めの業委員会による法律第6条第3項、第40条第2項第1条に基づき『大宜味村の農業振興等に関する建議』を行い、このたび村から次のとおり回答がありました。

(28号)

大宜味村



農業委員会だより

耕作された元気な畑から村の未来が見えます。

平成27年 2月 2日(月)  
編集・発行 大宜味村農業委員会  
☎0980-44-3477

農業委員会 2月予定表

日/(曜日)	内 容
6(金)	北部農林推水産振興センターとの調整会
10(火)	各種申請書締切日
12(木)	紅茶植栽会
18(水)	第6回執行部会
25(水)	第6回総会



質

三村広域での鳥獣害対策の協議について

①カラス、コウモリ等の減少が得られないのであれば、農家が独自で対策を講じたい。防除ネット等の資材支援を検討して頂きたい。

②鳥獣の生態調査等を実施し県とデーターを共有し効率的な駆除に努めて欲しい。

答

カラスの駆除については北部地域一斉駆除日を決めて年4回実施予定しております。コウモリについては捕獲が禁止されております。カラスの個体数調査・生息調査については、平成25年度より県の方で調査され現在も継続中ですが調査状況等の報告はありません。(調査中のため)

防除ネットの資材支援について、今年度4農家実施の予定をしております。(シークワサー)次年度につきましては、農家の要望等を調査し検討したいと思います。

質

自然災害対策のためのハウス(強化ハウス・平張ハウス)支援事業の促進について

大宜味村でも花卉振興協議会が組織化され、今後、農業者担い手育成の為に自然災害(台風)に耐えられる強化ハウス・平張ハウス事業の促進に対応して欲しい。

答

シークワサーの平張ハウスについては今年度5農家の施設を整備します。花卉等における平張ハウスについては、農家の希望等を調査し平成27年度以降の事業計画を行い整備を進めていきたいと思います。

質

畑灌水設備の整備について

地区単位で懇談会を持ち、水使用等の管理規定等を作つて欲しい。

大保ダムからの取水が早く使用できるよう国に申し出てほしい。



答

大保ダム取水口については、今年7月より取水を開始しています。企業局等の施設があるためバリエードが設置されていますが、自由に開閉し利用するよう案内しています。

ダムの取水口を村内各地に取り付けて欲しいことについては、大保川下流域田港地域に対する許可のためその他の地域への送水はできません。

質

6次産業化等を見込んだ村の販売戦力としての販路拡大について

大宜味道の駅の整備を早めに進め大宜味村農家の作物が直接販売できるようにして欲しい。又、許田道の駅、都市地区等においても大宜味村の農産物等の特産品が販売できるコーナーやアンテナショップを検討して欲しい。

農家が自分の作物を自由に販売できる直売所を(国頭道の駅参考)小中学校の跡地利用等を検討して欲しい。

答

バーコード導入については、平成25年度より検討を行っていますが導入費用及びランニングコストがかなり高く、現時点に於いても検討中です。

活性化センターの今後の活用については、活性化センター運営委員会において村民の意見を踏まえた活用を検討していきます。

6次産業化等で製品化した特産品については、機会があるごとにPRしていきます。

質

シークワサーの安定生産にむけて

シークワサーの安定的な価格の設定は生産者が安心して持続的に栽培できるものであり、農業経営の安定化が図られる。

裏作、表作に関係なく全量買取は最も農家として望むところである。村の基幹作物でもあることから、村がリーダーシップをとつて関係機関へ働きかけ具体化して欲しい。その事により高品質農産物として付加価値のついたシークワサー栽培農家の育成に繋げられる。シークワサー

は2千トという生産量は把握できている。苗等の販売や、管理より販売先、加工品等の支援に努めて欲しい。

答

加工業者に対し増量の加工を要望しましたが、当初冷凍施設の確保ができず増量加工できませんでした。11月に入り冷凍施設の確保もでき幾分の増量加工ができましたが、各加工業者の状況を確認したところ、前年度加工分も在庫として抱えている状況にあり末端での消費拡大に向けた取り組みを図りたい。

現在多数のメーカー等への働きかけしています。特に粉ものの加工業者よりのアプローチがあり今後、商品開発の展開と消費拡大を推進していきます。

質

土地改良区の再整備について

現在の土地改良区は昭和の時代から進められてきた基盤整備事業である。

小面積農地が多く面的利用が困難である。再整備をする事により機械化のできる広い農地が確保でき、現在村が進めている「人・農地プラン」で支援している青年就農給付金を受給している担い手へ集積できる。収益性のある中核農家として育成し、安定した農業経営者が増えることは村の農業振興に寄与するものである。

土壌の浸食等、昭和に整備された農地もあり再整備で農業環境を整えて欲しい。

答

人・農地プランを推進し担い手農家への農地の集積を積極的に進めていきます。

農道の整備及び農業用水の整備については、補助事業を活用し年次的に整備計画を推進します。

質

田嘉里地区農道の整備

簡易な整備事業の検討をお願いしたい。

答

田嘉里土地改良区においては農地・水保全改善事業において地域活動を行っています。

当の農道については、村道として認定されています。当道路の冠水に関しては田嘉里川における水門2機あり手動により開け閉めしている状況です。当河川については2級河川のため県の管理下にあり今後県と協議し対策を検討します。

質

就農者住宅対策

農家は大型機械の格納庫、作物の管理等が必要なので作業小屋、空き家など貸して欲しい。また、担い手育成に向けて住宅と農地の幹施支援を行って欲しい。

答

大型機械等の格納庫については、なるべく圃場近くに設置し機械の移動等時間のロスを少なくできるか検討するべきでないか。

村内の空き家に関する事については、現在調査中で今後空き家対策を検討していきます。空き家を紹介して欲しいとの事があった場合、区長等を照会している状況です。また村営住宅の募集についても案内しています。

質

江洲地区インターネットアンテナの設置のお願い

農業もネットで販売する時代になってきた。若者を定住させるためにもアンテナを設置してもらいたい。

答

平成27年度以降、県の事業により現況調査が行われる予定で調査に基づき平成28年度以降、整備を行っていききたい。

第15期 第4回総会議題結果報告(平成26年12月26日開催)

議案番号	件 名	件数	可・否
議案第7号	非農地証明	3件	可
議案第8号	基盤整備法利用権設定	11件	可

第15期 第5回総会議題結果報告(平成27年1月26日開催)

議案番号	件 名	件数	可・否
議案第9号	農地法第3条の規定による許可申請について	3件	可
議案第10号	非農地証明	2件	可
議案第11号	基盤整備強化促進法に基づく利用権設定について	1件	可





4月 農業青年会の立上げ  
大宜味の農業を守ります。



6月 紅茶生産組合立上げ  
3農家が頑張ります。



7月 農林水産省  
耕作放棄地施策



8月 赤土対策ひまわり畑  
大宜味の観光名所となりました。



1月 産業まつり  
農地相談を受付ました。



## H26年度農業委員会活動ニュース

11月 喜如嘉土地改良区集積(農地中間管理機構)



11月 堀之内さん6次産業開発取り組みで優秀賞受賞



10月 15期農業委員会改選  
会長に前田 貞夫氏



10月 建議書提出  
意見交換会で出た要望を提出



## 農家さん紹介コーナー



今月は、小生さんご夫婦。昨年ひまわり畑でも有名になりましたが、赤土対策で大宜味の海や山を守ろうと頑張っている農家さんです。

観光名所になったひまわり畑は元気一杯のキャベツ、大根、じゃがいもが栽培されていました。昨年、皆さんを楽しませたひまわりは小生さんが種取りしてみごとに畑の回りで花を咲かせていました。尋ねた日は2人でじゃがいも堀りの作業を早々と進めていて、猪被害に頭を痛めており、小生さんご自身で作った猪よけの仕掛けを見ながら「昨日、猪にバレてしまって・・・」と笑いながらも残念そうに話していました。1畝の農地をたった4人で一個一個丁寧に、なんと！！手堀り作業をしていました。

県外からの移住のお二人は「村外からの私達でも地域の方々や行政の受け入れは気持ちよく人情高いところは太宜味の魅力の一つだと思います。」と話していた小生さん。

未来の太宜味村の大地を守る若き農家さんに今後も温かいエールを送り見守って行きたいですね。

## 地域力は村活性化の重要課題

### 農業委員・農業委員会の役目

大宜味村農業委員会事務局長 宮城 久美子

最近、農家の声が村行政に届くようになってきた。鳥獣被害対策、新規就農者掘り起こし担い手の育成、堆肥の補助等が主に挙げられる。

農業委員会においても常に農家が相談に訪れ、賑やかである。その度農業委員の誰かが相談役となり対応している。その御蔭で、喜如嘉土地改良区においては農地の集積が進み県の中間管理機構に繋げることができた。

担い手農家、村外地権者に喜ばれているところである。

時には、農地、農家データ確認にやってくる産業振興課の農業担当職員も一緒になって相談役になる。職員も農業委員、農家と話し込み今後の農政振興を語り合う機会も増えてきた。農家と行政が問題を共有できることはとても良いことである。

村内の農地が耕作放棄地では、農業関係補助事業を採択することができない。そのことが常に悩みであった太宜味村である。農業委員の役目は大きい、農地、農家をきめ細かく調査しデータ化する。そのデータが最重要であることを常に話し合っている。だから農業委員は毎年幾度も農地・農家の調整活動を重ねている。

農家が意欲を持って、行政を信頼し、頼りにしていることは、とても嬉しいことである。その結果、農家の協力も得られ多くの事業を推進することが出来た。

村行政は議会、農業委員会、教育委員会、行政の4つの傘の下で村民の生活と権利を守る業務を担っている。互いに役目を尊重し、とりわけ、農業委員会においては、前田会長を先頭に農地法に基づき「農地を守ること、有効利用」を図る活動に日々邁進していくところである。

農業振興は、村を潤す財産に繋がる。村の子供達への教育、福祉の向上、村の観光資源全てが農業振興の成果で成り立つということを私達農業委員会は自負している。

『農無くして国建たず、担い手無くして村建たず』農業委員会の合言葉である。地域力は農業者の育成が第一と思うこの頃である。

## 始まります

耕作放棄地農地利用意向調査

昨年4月に改正農地法が施行され、太宜味村農業委員会では利用状況調査の後、遊休農地の所有者などへの利用意向調査を2月から始めます。

意向調査は農地の遊休化を未然に防ぎ、有効利用を促進していく為の取り組みでもあります。

利用意向調査結果は、農地一筆ごとの所有者の意向等、詳細を農地台帳に記載し、中間管理機構へつなげていきます。

4月からは農地台帳の項目のうち改正農地法等で一般に公表する項目と定められた情報についてインターネットに於いて、公表することになっています。

農家、所有者への周知を含め農地の有効利用を促進していきたいと思っております。

のでご協力のほど宜しくお願いいたします。

## 平成27年度賃金職員募集を行います。

- ★申込内容★
  - (一)事務賃金職員
  - (二)農地調査等職員
- ★申込条件について★
  - ・村内在住の方
  - ・通勤可能な方
  - ※パソコン操作可能な方を優先いたします。
- ★賃金額について★
  - ・事務賃金 日当6000円
  - ・農地調査等職員 日当7000円
  - ※平成26年4月1日現在の賃金額)
- ★賃金締切日★
  - ・末日 毎月10日払
- ★各種保険★
  - ・社会保険・雇用保険・労災保険
  - (勤務日数等により保険については若干変動があります。)
- ★勤務時間★
  - ・月曜日～金曜日(週5日)
  - ・午前8時30分～午後17時15分
  - (午後12時～午後13時まで休憩時間)
- ※ただし農地調査等職員については話しあいます。
- ★提出書類について★
  - ・履歴書
  - ・納税証明書(村税の状況確認)
- ★募集期間★
  - 平成27年2月10日～平成27年3月10日まで
- ★問合せ先 太宜味村農業委員会44-3477

